

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和7年5月1日現在

江戸川区立葛西中学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	数学
令和8年度の目標	65.0%	60.0%
令和7年度の目標	62.0%	50.0%
令和6年度の結果	57.9%	44.3%
令和5年度の結果	37.6%	48.1%

令和6年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合			
学年	国語	数学	英語
第2学年	51.1%	51.0%	46.2%
第1学年	47.5%	37.8%	43.4%



目標達成に向けた取組

	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 都教委訪問を実施し、指導・助言を受けながら授業改善を図る。 導入時に授業のめあてを伝える。 まとめの際に振り返りや内容の確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や計算の小テストを各学年、学期に一度以上実施する。 各学期に「江戸川っ子study week」を実施し、ドリルパークを活用する。 放課後学習教室を活用し、CD層の生徒の基礎学力の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 面談時に保護者に学習の様子を伝えるなど家庭との連携を図る。 学年集会や学年だよりなどで家庭学習の取り組み方を紹介する。 定期考査前補習を実施し、学習習慣の定着を図る。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	<ul style="list-style-type: none"> 授業の途中に発問を行い、内容への理解を確認する。 既習の内容を取り入れ、定着を図るとともに、基本的な問題を数問組み込み、自信をもって答えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な生徒へのサポートを放課後学習事業者と連携して実施する。 ドリルパークで苦手分野の復習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学期で実施する「江戸川っ子study week」を通して、ドリルパークを積極的に活用するように促す。 定期考査前補習への参加を促すとともに、既習内容の復習に取り組むように呼び掛ける。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 全教員が年一回以上、研究授業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業アンケート「授業の内容を理解することができますか」の設問で「理解できる・どちらかといえば理解できる」と回答した生徒の割合 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査「授業時間以外の勉強時間」 1時間以上の回答割合 90%以上